

活動している人へ [活動を高め、支える] [活動をつなぎ^{ひろ}拡げる]

④活動PR

Q22 たくさんの人に活動を伝えるには？

A22

広報誌、チラシ、
ホームページを作成



会員や支援者を増やし、組織、活動の拡充を図るためにも広報活動は非常に大切です。また、活動内容を世間に公表することで社会の認知や評価にもつながっていきます。

広報の手段として、一つは会員向けの広報誌、会員以外の人にイベントの参加を募集するためのチラシ、団体の活動内容を紹介するパンフレットの作成などがあります。

また、ホームページを作成してPRする団体も増えてきています。最近では、インターネットに日記形式で自分の意見などを書き込む「ブログ」や、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）と呼ばれるものも注目されています。

なお、ひょうごボランタリープラザの「地域づくり活動情報システム（コラボネット）」では、地域づくり活動の概要（活動内容、活動分野、活動地域、グループ・団体の概要など）やイベント・講座のお知らせを登録すると、インターネットを通じて広く情報発信することができます。ぜひご利用してみてくださいはいかがでしょうか。

その他に、マスコミにイベントなどを取り上げてもらう方法もあります。ただ、依頼したからといって必ず取り上げてもらえるわけではないので、継続的に報道依頼をしてみましょう。

活動団体からの一言アドバイス

開催案内のチラシをつくって町内に全戸配布しています。毎回、会長が1軒ずつ訪れ、手渡しでどんなことをやるかを説明して回っています。お宅に誰もいなかった場合に、はじめてポストに投函するのです。

参加される方が増えてきた一番の原因は、お母さん同士の口コミです。直接お話することで、紙では通じないことが通じることもあるのではないのでしょうか。

PRは口コミが一番！町内を一軒ずつ回ります

県の支援施策・事業

◇「地域づくり活動情報システム」(コラボネット)：ひょうごボランタリープラザ
電話078-360-8845 http://www.hyogo-vplaza.jp/enterprise/2_jyouthou/01/gaiyo.html